



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.189

2021年4月30日

九州支部長 T.Y.

つつじや藤の花が美しく咲いて、風が爽やかな季節となりました。皆さま方はいかがお過ごしでしょうか？日頃はサーバス活動にご理解、ご協力ありがとうございます。

私の住む町（福岡県遠賀郡水巻町）の隣、中間市の遠賀川河川敷ではいつもこの時期には色とりどりの鯉のぼりが泳いでいます。30本のポールに市民から寄贈された150匹余りの鯉のぼりが春風の中、悠々と大空を泳いでいます。この時期の季節感をさらに盛り上げてくれています。



さて、1週間前、私の町にもとうとう？やっとな？コロナのワクチン注射の申し込みが届きました。申し込みは電話のみです。即刻電話を掛けるのですが、全くつながらず、いつ受け付けてもらえるのか、根気よく電話し続けるしかありません。ネットでの受付や、地域ごとに受付をすればもう少しスムーズに事が運べるのではと思いますがそれなりの理由があるのでしょうか。ワクチン接種をしない人、副反応を恐れる人、いろいろですが考えさせられます。将来サーバス旅行をする際にはやはり接種しておいた方がいいのではと思っています。

サーバス九州支部会報 189号（2021年4月号）をお届けします。

掲載している内容は以下の通りです。

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1. 2021年度支部会議報告 | |
| 2. 旅行に必要なLOIの取得方法の変更 | |
| 3. 投稿 | |
| (1). 「コロナ禍で、ホストファミリーとの再交流」 | 長崎県 M.M |
| (2). 「消えたスーツケース」 | 福岡県 T.Y. |
| 4. 支部会員情報 | 5. 支部からのお願い |
| 6. 支部連絡先（常掲） | |

1. 2021 年度支部会議報告

今年度の支部会議をオンライン（Zoom）で開催しました。

日時： 4月18日(日曜日) 14:00～15:30 参加者 9名

支部では昨年の11月に引き続き2回目のオンライン会議です。9名の方に参加いただき、無事に会議を終えることができました。ご協力に感謝します。Zoomにもだんだん慣れつつあり、「支部会議はZoomで行い、会員同士の交流として秋の例会をどこかで1泊して交流する」のもいいのではないかと思います。会議の概略を以下に述べます。

決議事項

(1) 2020 年度決算報告および監査報告

決算報告書は、サーバス会員専用の会報をご覧ください。

(2) 2021 年度活動計画

昨年秋に計画していただいた宮崎での秋例会を、コロナが少しでも収まることを願い、今年ぜひ実現したいと思います。例会に予定している場所は、JR 宮崎駅の北約 5km に位置しているフェニックス・シーガイア・リゾート内にあり、松林に囲まれた、コテージ風ホテルに宿泊（11月20日（土））を予定しています。

(3) 副会計の設置

会計担当の H.S.さんがご都合でしばらくお休みをされますので、副会計として長崎県の A.A.さんが、会計業務を引き受けてくださることになりました。よろしくお祈いします。

(4) 事務局の設置

長崎県の M.M.さんと福岡県の T.F.さんが、お引き受けくださいました。よろしくお祈いします。

九州支部では、来年3月末で今の執行部が任期を終え、新しい方に引き継ぎをします。そして再来年2023年には、本部業務(A業務といい、会長、副会長、会計を担当)が当番制で九州支部に回ってきます。今後、ますます皆で協力してやっていくことが必要になると思われます。そのために支部内に事務局を置き、執行部の活動が円滑に行われるよう、ご意見やアドバイス等サポートを頂ける方を求めています。

2. 旅行に必要な LOI の取得方法の変更

LOI（旅行認定証）の取得は、今年度より SOL（ServasOnline；サーバスオンライン）を使うことになりました。今までは LOI を発行する時は、Word ファイルで原稿を作成し、紙スタンプを貼っていましたが、これからは SOL 上で編集し、申請手続きをするようになります。編集・手続き方法は、日本サーバスの Web サイトのトップページ・メニューにあります ServasOnline(SOL)の『SOL 利用の手引き』に詳しく説明されていますのでご覧ください。わかりにくい方は、直接支部長にお尋ねください。

3. 投稿

(1) コロナ禍で、ホストファミリーとの再交流 ?!

長崎県 M.M.

定年退職と同時に Servas に入会し、3年が経過しました。仕事からの解放感と、Servas との出会いで、予想以上に、とても充実した第二の人生をスタートすることができました。ホストの初体験や先輩会員とのグループ海外旅行や個人旅行と、一つ一つが刺激的で、私にとってとても貴重な体験となっています。そして三年目、誰もが経験したことのないコロナパンデミック騒動です。

今度は自分で計画を立てるところからの Servas 旅行にチャレンジしようとしていた矢先のことでした。

コロナ禍は、私の生活サイクルまで大きく変えてしまいました。昨年4月から、小学校英語の教科化がスタートしたのですが、外国人英語指導助手 (Assistant of Language Teacher :ALT) が来日できずに、学校現場で ALT が不足するという事態になりました。そんなこんなで、ALT が来日するまで、という期限付きで、小学校英語に関わることになりました。

子どもたちの英語学習の動機付けに、外国文化の紹介は欠かせません。そこで、思い浮かんだのが、”Servas”です。我が家を訪問した海外の Servas 会員、そして、私を受け入れてくれた海外のホストファミリーと、メールでやり取りしながら、写真や情報を送っていただきました。

アメリカ、インドネシア、オーストラリア、ハンガリー、ルーマニア、チェコ…。内容は、夏のクリスマスに、四季、お正月、イースター…。その中で、一番印象に残っているのが、ルーマニアのホストファミリー (2019.11 訪問) との交流です。

その家族には、現在、小学6年生 L と中学2年生 S の2人がいました。教科書の内容に沿って、日本から学校生活について英語で質問する動画を送り、その返事を動画で送り返してもらう、といった活動です。

私の教え子も、同世代との交流には、特に興味津々で取り組みました。日本の授業中に送信しても、時差の関係で、ルーマニアは早朝の時間帯であるため、リアルタイムで直接、というわけにはいきません。しかし、今どきのネット社会で、世界がつながっていることを体験できる、とてもいい機会になりました。

それにしも、L と S の流ちょうな英語と堂々とした対応には、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。



コロナ禍で、自由に動けないもどかしさがあるのは事実ですが、コロナ禍だからこそ実現できた、*servas friends* との再交流でした。



(2) 消えたスーツケース

福岡県 T.Y.

去年 10 月家でテレビを見ていたら、「2010 年 8 月 5 日に発生したチリの落盤事故で 33 名の作業員の方たちが 69 日ぶりに全員無事に救出されて 10 年」の特集番組をしていました。「あれから 10 年経ったんだ!」としみじみ思い出しました。その頃、夫と私はパリの北駅近くの小さなホテルに 1 泊していました。その部屋でテレビを見ていたら、その落盤事故の映像が映し出され、言葉は分かりませんでした。まだ皆が救出されていないのだと画面から分かりました。

次の日フランスのツールで、C さん宅に 3 泊させていただくことになっていて、駅には C さんのご主人が待っていてくれました。家までの間、古いお城や教会に立ち寄りながら夕方家に到着です。あたり一面ブドウ畑でテレビに出てくる様な景色でした。家は古く石造りで築 150 年。庭はちょっとした公園のようでした。

次の日は C さんの、親戚の方が近くで 12 ヘクタールのぶどう園を経営しているので連れて行ってくれました。有名な賞を何度も取っているワインを 2 本プレゼントしてくださり感激したものです。日本から友達が来たからとご近所の方を夕食に招いてのひと時など、普通の旅では味わえない体験をしました。

3 泊の後、ブリュッセルのホテルで 1 泊して、そこから高速鉄道のタリスに乗り目的地である終点のアムステルダムに向かいました。車内は満席でしたが予約をしていましたので私達の席だけ二つ一番奥に空けてありました。二つのスーツケースを置くスペースは全くなく、頭上の荷物置き場もぎっしりでしたので、また狭い通路を戻り、入口近くのスーツケース置き場に置きに行きました。一つは

布製のちょっと大きめので、もう一つは普通の中型のスーツケースです。

私たちの席とスーツケースの場所が遠くに離れていて、気にはなっていたのですが、呑気にも途中二度しか荷物の確認に行きませんでした。さてアムステルダムに着きました。私たちにサーバスのことを教えてくれたJさんとJeさんが迎えに来てくれることになっていました。旅の最後、今日から二日間のはんびりできるなとリラックスモードでした。



ところが、ところがです。下車の際に布製のスーツケースが見当たりません。夫と二人、「あー！！ない！！」としか声が出ませんでした。

すぐ近くにいた駅員さんに事情を話し、構内に警察があるので行きなさいと言われましたが、駅員さんからは「よくあることです」的な事を言われました。警察ではいろいろ聞かれ、途中、駅の改札口で待っていてくれたJeさん呼びに行き警察とのやり取りをしてもらいました。私は警察にいる間、スーツケースに入っていた物を一つ一つ思い出しては、憂鬱な気持ちになっていました。現金、どういう訳か運転免許証、お土産にもらったワイン2本、ジャケット、電子辞書、いろいろな所で買ったお土産などなど....

帰国してから保険会社に届けたのですが、それが結構面倒な手続きでした。失くした物の値段、わかる範囲で製造会社名、購入年月日、失くした物の絵を一つ一つ描く、そして後日電子辞書の取扱説明書を送るようと、保険会社も複雑な手続きを要求し、簡単には補償してくれないものだと思いました。結果的にそれ相応の保険金は受け取りましたが、後味の悪さは随分長く続きました。

教訓として「荷物は自分たちの席に置き、自分たちは通路に立っている」でした。帰りにはJeさんが見かねて夫にショルダーバックをくださって、スーツケース一つと、ショルダーバッグで、とても2週間近くヨーロッパの旅をしてきたようには見えない姿で帰ってきました。でも元気に帰ることができたので今では思い出です。

4. 支部会員情報

九州支部の会員状況

2021年4月30日現在の会員数 43名

福岡県 12名、 佐賀県 5名、 長崎県 8名、 大分県 10名、 熊本県 3名
宮崎県 3名、 鹿児島県 2名

5. 支部からお願い

新型コロナウイルスの影響でサーバス旅行もできず、外国からのトラベラーの受け入れもできず、残念な状態のまま1年が過ぎてしまいました。今まで皆さまがサーバスで体験された面白い話、興味深い話、また困った話などありましたらお寄せください。会報に掲載させていただきます。

この会報を利用した紙上での交流ができればいいなと思います。

6. 支部連絡先(常掲)

発行日：2021年4月30日（189号）

発行者：サーバス九州支部長

T.Y.

【会費、認定料等の送金は以下にお願いします】

○ お持ちの郵便口座からサーバス九州事務局の郵便口座への振込は送金手数料100円がかかります。

○ 銀行から振り込む場合 送金手数料は有料です。

なお、口座番号、名称などについては日本サーバスWebページの会員専用の九州支部会報をご参照ください。

○ 会計担当：A.A